

令和7年度 志教育全体計画

宮城県古川黎明高等学校

| |
|----------|
| 校 訓 |
| 尚志 至誠 精励 |

| |
|--------------|
| 本校の教育目標 |
| 創造力 自主・自立 共生 |

| |
|--|
| 生徒の実態, 教師の願い |
| ○穏やかな地域風土の中で、男女とも素直で優しい生徒が多い。 ○先を見通す力と行動力を身につけて、文武にバランスのとれた人材になってほしい。 |

| |
|---|
| 保護者や地域の願い |
| ○楽しく充実した学校生活を送りつつ、高い学力と豊かな人間性を身につけ、社会で活躍できる人材になってほしい。 |

| |
|--|
| 「志教育」の目標 |
| 1 学んだことをもとに進んで課題を見つけ、解決していく力を付ける。 2 しっかりと自分と、未来に立ち向っていく強い意志を持つ。 3 地域に生きる一員として、互いを知って共に生きようとする態度を身に付ける。 |

| 重点指導事項 | | |
|--|--|---|
| 人と「かかわる」 | よりよい生き方を「もとめる」 | 社会での役割を「はたす」 |
| ○他者の価値観や個性を理解するとともに、自己理解を深めることができるようにする。 ○さまざまな人に、正確に伝えることのできるコミュニケーション能力を養う。 | ○生きがい・やりがいがあり、自己を生かせる進路を、多様な選択肢と可能性の中で考えさせる。 ○将来の職業や生き方について考えさせ、その実現に向けて、学業や学校行事に精一杯取り組ませる。 | ○学校や社会において、自分が果たすべき役割を自覚できるようにする。 ○ボランティア活動等を通して、さまざまな人と協力しあいながら問題を解決し、よりよい社会をつくっていく姿勢を養う。 |

| 各教育活動における取組の観点 | |
|----------------|--|
| 各教科 | ○学習と現在および将来の生活を結びつけて、学ぶ意義を理解させ、自ら学ぶ意欲を高める。 ○学ぶ面白さや楽しさを伝え、主体的かつ計画的に学習に取り組む姿勢を育てる。 |
| 道徳 | ○人間としての在り方・生き方を主体的に探求し豊かな自己形成ができる生徒を育てる。 ○他人と協調しつつ自律的に社会生活を送ることができる生徒を育てる。 |
| 総合的な探究の時間 | ○課題研究に取り組むなかで、「発見・思考・交流」による探究的な学びを段階的・持続的に実施し、探究力（主体的に探究を続け、新たな価値を創造する力）を生徒に育成する。 |
| 特別活動 | ○ホームルーム活動での人間関係の形成により、協力して問題を解決する態度や意識を育てる。 ○学校行事で、集団への帰属意識や連帯感を深め、協力してよりよい学校生活を築こうとする態度を育てる。 |
| その他 | ○中高一貫教育の特色を生かした計画的な教育活動により高い志をもった生徒の育成を図る。 ○本校の伝統的な取り組みである「あいさつ」の励行を通じて、明るく温かな学びの場づくりを目指す。 ○清掃の徹底を通じて、学習環境の美化とともに奉仕の心の醸成を図る。 |

| 各学年の取組内容 | |
|----------|---|
| 1年 | ①新入生オリエンテーション ②課題研究取り組みについての講演会（年2回） ③大崎耕土課題研究（年2回） ④進路com I～VI（年6回） ・職業適性を知る ・大学受験への取り組み方 ・自分の生き方・将来を考える ・夏季の学習法 ・春季の学習法 ・合格体験講話 ⑤個別面談 |
| 2年 | ①課題研究 ②進路com I～VI（年6回） ・進路と科目選択 ・希望進路達成のための学習法 ・キャリア意識の醸成 ・志望理由を考える ・合格体験講話 ③個別面談 |
| 3年 | ①課題研究論文作成 ②進路com I～III（年3回） ③進路を考える（年5回） ・入試制度の理解 ・併願校を考える など ④個別面談 |

| |
|---|
| 家庭との連携 |
| P T A活動や学校評価、授業公開などの機会を通じて情報交換を図り、将来、社会に貢献できる人材の育成に努める。 |

| |
|--|
| 地域・企業との協働 |
| ○黎明サポーター100（人材バンク）の作成 ○地域ボランティアへの積極的な参加 ○地域N P Oとの連携による教育活動の拡大 |